



京都ノートルダム女子大学

国際日本文化学科 オープンキャンパスのご案内

ガイダンスは
10時～です。

○ ミニ講義： 鷺見朗子 教授

10:50～11:30

祇園祭の山鉾懸装品 じゅうたんの謎

概要:京都の夏の風物詩といえば、祇園祭です。コンコンチキチン、コンチキチンという祇園囃子が聞こえてきますね。祇園祭はその歴史、伝統、規模などの面で、わが国最大の祭のひとつです。特に豪華絢爛な山鉾とそれを飾る舶来の懸装品は、希少かつ貴重であり、「動く世界の美術館」とも呼ばれています。このミニ講義では、祇園祭の歴史をひもとき、その懸装品のひとつであるじゅうたんの謎に迫り、イスラーム地域との交流の足跡をみていきます。今年度は授業でも祇園祭を扱っており、実際にフィールドワークとして祇園祭へ出かけ、長刀鉾や鯉山といった山鉾の会所などを見学する予定です。今から学生たちはワクワクしています。

○ ミニ講義： 吉田朋子 教授

13:30～14:10

祇園祭のタペストリーに織られた物語

概要:祇園祭の懸装品には、ヨーロッパで制作されたタペストリーがあります。主題は旧約聖書『創世記』の「アブラハムの使いであるエリエゼルに水を飲ませるリベカ」、そしてホメーロス『イーリアス』の諸場面です。これらのタペストリーを入手した江戸時代の人々は、おそらく主題内容は分かっていなかったことでしょう。それでも、織物の目利きとして文化を超えてその価値を認めたのだと考えられます。このミニ講義では、主題になった物語の内容を詳しく紹介します。今年の祇園祭は物語を思い出しながらじっくり鉾や山を鑑賞しましょう！

○ 体験コーナー： 久野将健 教授

10:30～ 随時

祭りをリズムで表現!?

概要:祇園祭や日本各地の祭りのリズムは様々にありますが、それを電子ドラムを使って表現してみる試みです。電子キーボードや音源も加えて音楽を聴くだけではなく、自らが表現する楽しさを体感してみましょう。

○ 相談コーナー： 岩崎 れい 教授

